「や」で始まる語彙辞典

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「や」で始まる語彙辞典 4

おわりに 10

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「や」で始まる語彙辞典

や - いん【夜陰】
夜のやみ。夜の暗さ。また、夜中。夜分。「―に乗じて攻撃をしかける」

や - え【八重】
① 八つ重なっていること。転じて、数多く重なっていること。また、そのもの。「七重の膝(ひざ)を―に折る」
② 花びらが数多く重なっていること。また、その花。重弁(じゅうべん)。「―の椿(つばき)」

やお - え【八百重】
幾重にも重なっていること。非常に遠く隔たっていること。また、その場所。

やかまし - や【喧し屋】
小言や理屈を多く言う人。うるさがた。「―の御隠居」

やき - むら【焼き斑】
ものの焼け方が一様でないこと。「ホットケーキに―ができる」

やく - さつ【扼殺】
［名］(スル)
手で首をしめて殺すこと。「言い争いのあげく―した」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

やく - しゅつ【訳出】
［名］（スル）
翻訳すること。訳し出すこと。「グリム童話全編を―する」

やく - ぞう【躍増】
［名］（スル）
急激にふえること。飛躍的な増加。「売り上げ総額が―する」

やく - とく【役得】
その役目についていることによって得られる特別の利得や特権。「―の多い仕事」

役人（やくにん）風（かぜ）を吹か・す
いかにも役人であるという態度でいばる。「横柄に―・す」

やく - やく【躍躍】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
こおどりするさま。また、おどりたつほど生き生きとしたさま。

やく - りょう【訳了】
［名］（スル）
原典を訳しおわること。「全五巻を―する」

やけ - こげ【焼け焦げ】
焼けて焦げること。また、その跡。「スカートに―をつくる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

やけ - ださ・れる【焼け出される】
［動ラ下一］
家を焼かれ、住む所がなくなる。「大火で―・れる」

焼(や)け木杭(ぼっくい)に火(ひ)が付(つ)く
一度焼けた杭は火がつきやすいところから、以前に関係のあった者どうしが、再びもとの関係に戻ることのたとえ。主に男女関係についていう。

やさ - がた【優形】
［名・形動］
姿かたちが美しいこと。上品にすらりとやせていること。また、そのさま。「―な(の)人」

や - しゅ【野趣】
自然のおもむき。また、田舎らしい素朴な味わい。「―に富む庭」

やす - うけあい【安請（け）合い】
［名］(スル)
よく考えもしないで、軽々しく引き受けること。「―して後悔する」

安(やす)かろう悪かろう
値段が安ければそれだけ質が落ちるであろう。安い物によい物はない。

易(やす)きに付(つ)・く
安易なほうを選ぶ。「―・いてばかりでは大成しない」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

やせ - さらば・える【痩せさらばえる】
［動ア下一］［文］［ハ下一］
やせて骨と皮ばかりになる。やせこける。「見る影もなく―・える」

痩(や)せる思い
身がやせ細るほどのつらい思い。「―で合格発表の日を待つ」

やっつけ - しごと【遣っ付け仕事】
間に合わせの粗雑な仕事。

柳(やなぎ)に風
柳が風になびくように、逆らわずに穏やかにあしらうこと。「―と受け流す」

やぼっ - た・い【野暮ったい】
［形］
やぼな感じだ。あかぬけない。「―・い服装」

病(やまい)膏肓(こうこう)に入(い)・る の意味
① 病気がひどくなり、治療しようもない状態となる。
② 物事に熱中して抜け出られないほどになる。「付き合いで始めたゴルフが今や―・ってしまった」

やま - ふところ【山懐】
山々に囲まれた奥深い土地。「―にいだかれた村」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

やま - ぶか・い【山深い】
［形］
山の奥深くにある。「―・い里の温泉宿」

山(やま)を掛(か)・ける の意味
万が一の幸運をねらって物事をする。そうなるであろうと予想して準備する。山を張る。「試験問題に―・ける」

闇(やみ)から闇に葬・る
① 世間に知られないように、こっそりと処理する。「裏から手を回して事件を―・る」
② ひそかに堕胎する。

やみ - がた・い【止み難い】
［形］［文］やみがた・し［ク］
抑え切れない。「―・い追慕の念」

闇(やみ)に惑・う
闇夜のために道に迷う。転じて、心が乱れて、適切な判断ができなくなる。「恋の―・う」

矢(や)も盾(たて)もたまら◦ない
思い詰めて、こらえることができない。気がせいて、じっとしていられない。「母親の病状が心配で―◦ない」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

やらず - の - あめ【遣らずの雨】
帰ろうとする人をひきとめるかのように降ってくる雨。

槍(やり)が降っても
どんな困難があっても。また、風雨をいとわないさまにいう。「―行く」

やりくり - さんだん【遣り繰り算段】
［名］(スル)
いろいろ工夫してやりくりをすること。「借金を返すために―する」

槍玉(やりだま)に挙(あ)・げる
① 槍で突き刺す。
② 非難・攻撃の目標にして責める。「委員長を―・げる」

やるかた - な・い【遣る方無い】
［形］［文］やるかたな・し［ク］
心のわだかまりを晴らす方法がない。「憤懣(ふんまん)―・い」「―・い思い」

矢(や)を向(む)・ける
攻撃の目標とする。「失言に非難の―・ける」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　↓　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.